

「持続可能な観光」「地方誘客促進」に向けたキラーコンテンツ
農泊の推進について

令和5年6月

農林水産省
農村振興局

農山漁村滞在型旅行「農泊」の推進について

- 「農泊」とは、**農山漁村地域に宿泊し、滞在中に地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」。**
- 「農泊」の狙いは、**宿泊・食事・体験など農山漁村ならではの地域資源を活用した様々な観光コンテンツを提供し、農山漁村への長時間の滞在と消費を促すことにより、地域が得られる利益を最大化し、農山漁村の活性化と所得向上を図るとともに、農山漁村への移住・定住も見据えた関係人口の創出の入り口とすること。**

農泊における多様なコンテンツ

<SAVOR JAPAN >



もち料理/岩手県

食

<ジビエ>



<農作業体験>



田植え体験
/ 栃木県大田原市

体験

<アドベンチャーツーリズム>



サイクリング
/ 広島県尾道市

<地域文化>



長良川上中流域 鶴飼い
/ 岐阜県岐阜市

宿泊

<棚田百選の景観>



棚田
/ 和歌山県有田川町

<一棟貸し>



京都府南丹市美山町

<農家民宿>



福井県鯖江市

<古民家>



山梨県甲州市

自治体・地域おこし協力隊・特定地域づくり事業協同組合
などによるサポート

地域協議会の枠組みにおいて地域一体となって実施

立ち寄るのみだと...

滞在時間：短 → 「通過型観光」



利益は限定・局所的

宿泊・体験コンテンツが充実すると...

滞在時間：長 → 「滞在型観光」



地域の利益の最大化

- ・ 農泊を支える体制を構築する中で **地域の雇用**も
- ・ 多様な交流はリピーターを生み **移住・定住**のきっかけに

宿泊 Lodging



Other attractive accommodations



Renovated accommodations



Traditional farmhouses



and more...

食事 Meal

LOCAL CUISINE



そば / 長野県信濃町



グリーンカレー / 鹿児島県瀬戸内町



創作料理 / 奈良県宇陀市



海鮮料理 / 岩手県釜石市



海鮮料理 / 京都府伊根町



おしゃれな朝食 / 島根県大田市



おしゃれな朝食 / 広島県尾道市



おにぎり / 熊本県菊池市



囲炉裏料理 / 長野県信濃町



家庭料理 / 熊本県菊池市



創作料理 / 山梨県小菅村

CREATIVE CUISINE



ちゃんこ鍋と焼き魚 / 埼玉県秩父市



郷土料理 / 福井県鯖江市

LOCAL SPECIALITY



鶏すき / 京都府南丹市



創作料理 / 香川県三豊市



おしゃれな朝食 / 島根県大田市



浜焼き / 千葉県いすみ市



お宝膳 / 京都府宮津市



川魚料理 / 愛媛県内子町



姿造り / 香川県三豊市

and more...

体験 Experience



天体観測／北海道八雲町



フットパス
／北海道美瑛町



着付け
／鹿児島県出水市



茶器絵付け
／福井県鯖江市



ミカン狩り／鹿児島県出水市



きりたんぼづくり
／秋田県大館市



カヌー体験
／宮崎県延岡市



レイルバイクライド
／秋田県大館市



牛車体験
／鹿児島県出水市



魚掴み取り
／愛知県豊田市

FOOD



豆腐づくり
／北海道帯広市



海女さんとの対話
／三重県鳥羽市



備中神楽
／岡山県矢掛町

CULTURE



STRINGチーズづくり
／北海道鶴居村



餅つき
／岩手県遠野市

NATURE



SUP体験
／岩手県釜石市



曲げわっぱづくり
／秋田県大館市



とろろてんづくり
／長野県茅野市



マーマレードづくり
／和歌山県田辺市



かまくら体験
／新潟県上越市



シャワークライミング
／沖縄県東村



紙漉き
／福井県越前市

and more...

○ 農泊の運営主体となる地域協議会等に対して、ソフト・ハード両面から一体的に支援を行う。

農泊推進体制

法人化された**中核法人***を中心として、多様な関係者がプレイヤーとして**地域協議会**に参画し、**地域が一丸となって取り組む**。

（構成員に農林水産業のいずれかに関わる者を含むこと）

* 中核法人は、地域における宿泊、食事、体験等の中核を担うとともに、地域全体のマーケティングやマネジメント等の協議会構成員間の調整を行う。

地域協議会

宿泊業 飲食業 交通業

旅行業 **中核法人** 金融業

農林水産業 小売業（お土産等）



市町村・中核法人

廃校を活用した宿泊施設



地域協議会との連携体



※民泊等の経営者が単独で事業を申請することは不可

地域協議会の取組への支援

市町村・中核法人等の取組への支援

<ソフト対策>

農泊実施体制等の整備

農泊推進事業

農泊をビジネスとして実施できる体制の整備、観光コンテンツの磨き上げ等に要する経費を支援
（ワークショップの開催、地域協議会の設立・運営、地域資源を活用した体験プログラム・食事メニュー開発等）

事業実施期間：上限2年間
交付率：定額
上限：1年目、2年目とも500万円/年

+

人材活用事業

新たな取組に必要な人材の雇用等に要する経費を支援
※農泊推進事業と併せて実施すること

事業実施期間：上限2年間
交付率：定額
上限：1年目、2年目とも250万円/年

完了後

農泊経営の高度化

農泊推進事業完了地区を対象に、集客力の向上や経営の安定等を図るための取組に要する経費を支援

農泊地域高度化促進事業

- インバウンド対応**
Wi-Fi、キャッシュレス、多言語対応、トイレの洋式化、インバウンド向け食事メニュー開発等
- 高付加価値化対応（食・景観）**
・地元食材を活用した食事メニュー開発
・景観・歴史・伝統文化等を活用した体験プログラム開発等
- ワーケーション対応**
Wi-Fi、オフィス環境（机、椅子、アクリル板等）整備、企業等への情報発信等

事業実施期間：上限2年間
交付率：①定額等
②③1/2
上限：①200万円
②③100万円、150万円

※②③の助成額について
「食」「景観」「ワーケーション」のうち、一つのみ実施の場合
⇒**上限100万円**（国費）
二つ以上実施の場合
⇒**上限150万円**（国費）

※当該事業による支援は1回限り。
また、①とそれ以外（②、③）の同時実施は不可。

<ハード対策>

※以下2つの実施形態のうちいずれか。

宿泊施設等の充実

市町村・中核法人実施型

古民家等を活用した滞在施設、体験交流施設、農林漁家レストラン等の整備に要する経費を支援

事業実施期間：上限2年間
交付率：1/2
上限：原則2,500万円（国費）

農家民泊経営者等実施型

農家民泊経営者等が現在営んでいる宿泊施設の改修に要する経費を支援
※農家民泊から旅館業法の営業許可を取得した農家民宿に転換するための整備を行う場合、併せて転換促進費の活用が可能（1経営者あたり最大100万円）

事業実施期間：1年間
交付率：1/2
上限：1,000万円/経営者（国費）
（1地域あたり5,000万円）

○ このほか、国内外へのプロモーション事業を通じた農泊地域の魅力発信を行い、農泊需要の喚起を推進

農泊地域数 (R4年度末) : 全国計 621地域

近畿 53地域

滋賀県	6	兵庫県	8
京都府	13	奈良県	12
大阪府	5	和歌山県	9

北陸 62地域

新潟県	24
富山県	11
石川県	16
福井県	11

北海道 48地域

東北 90地域

青森県	12	岩手県	15
宮城県	26	秋田県	13
山形県	12	福島県	12

中国四国 93地域

鳥取県	8	徳島県	5
島根県	15	香川県	12
岡山県	17	愛媛県	6
広島県	16	高知県	6
山口県	8		

関東 125地域

茨城県	7	栃木県	11
群馬県	11	埼玉県	6
千葉県	21	東京都	5
神奈川県	10	山梨県	14
長野県	20	静岡県	20

九州 96地域

福岡県	18	佐賀県	6
長崎県	10	熊本県	23
大分県	9	宮崎県	7
鹿児島県	23		

沖縄 12地域

東海 42地域

岐阜県	17	愛知県	7
三重県	18		

※農泊地域とは、農山漁村振興交付金による農泊推進の支援に採択され、農泊に取り組んでいる地域をいう。

農泊推進の取組状況②

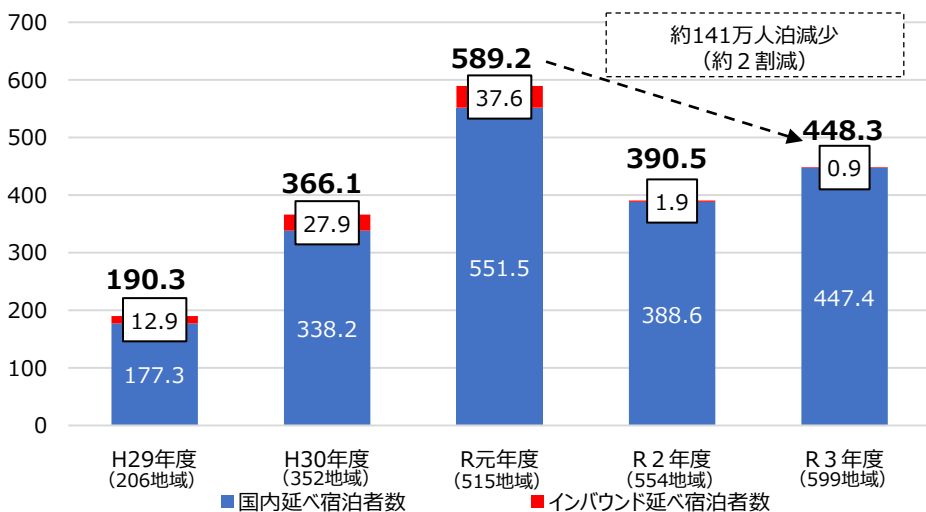
○ 農泊地域においては、コロナ禍においても地域一体となった農泊推進体制の整備、食や景観を活用した観光コンテンツの磨き上げ、ワーケーション対応等の利便性向上、古民家等を活用した滞在施設、体験施設の整備等に取り組み、コロナ禍による打撃からの回復途上にあるところ。

宿泊者数

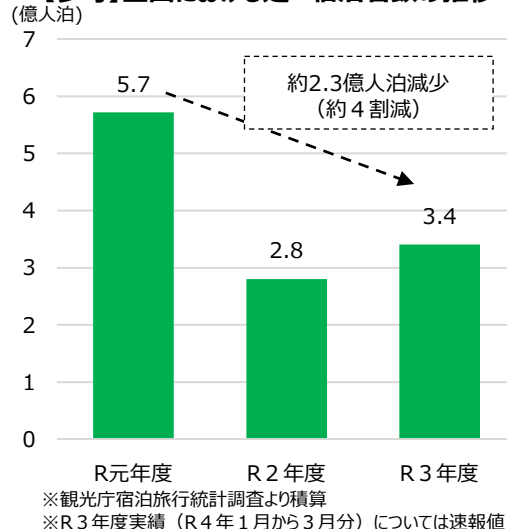
- 延べ宿泊者数は、平成29年度の約189万人泊から令和元年度には約589万人泊まで増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度には約390万人泊にまで減少。令和3年度は若干回復したものの、令和元年度と比較し2割減。
- インバウンドの割合は、令和元年度の6.4%に対して令和3年度は0.2%と回復していない状況。

(万人泊)

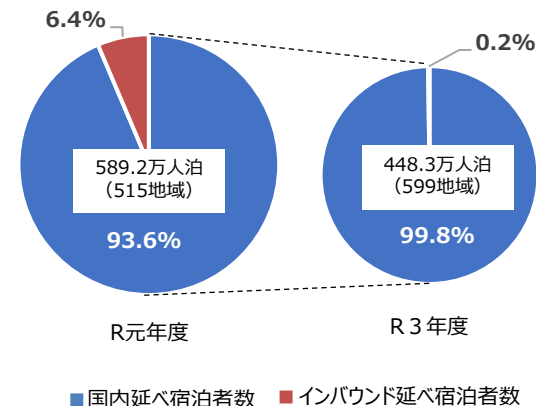
農泊地域の延べ宿泊者数の推移



【参考】全国における延べ宿泊者数の推移



R元年度及びR3年度におけるインバウンド宿泊者数の割合

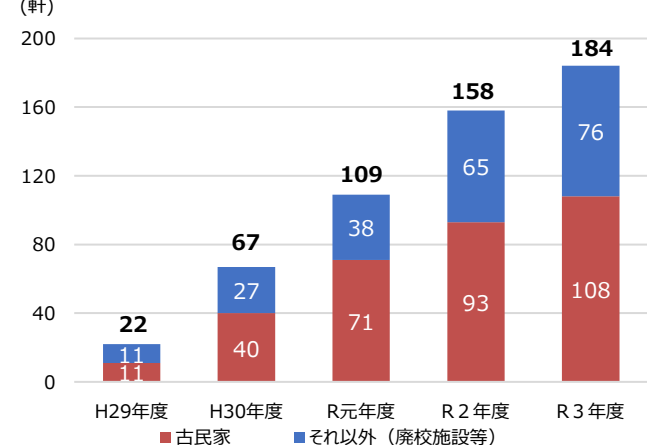


宿泊施設

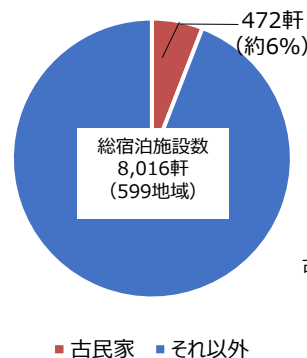
- 国が支援して整備した古民家は、平成29年度の11軒から令和3年度 (累計) には108軒へ約10倍に増加。
- 全体宿泊施設数における旅館業法等の許可を得ている施設の割合は平成29年度の63%から令和3年度では76%に増加。

(軒)

国の支援で整備した宿泊施設数 (累計) の推移



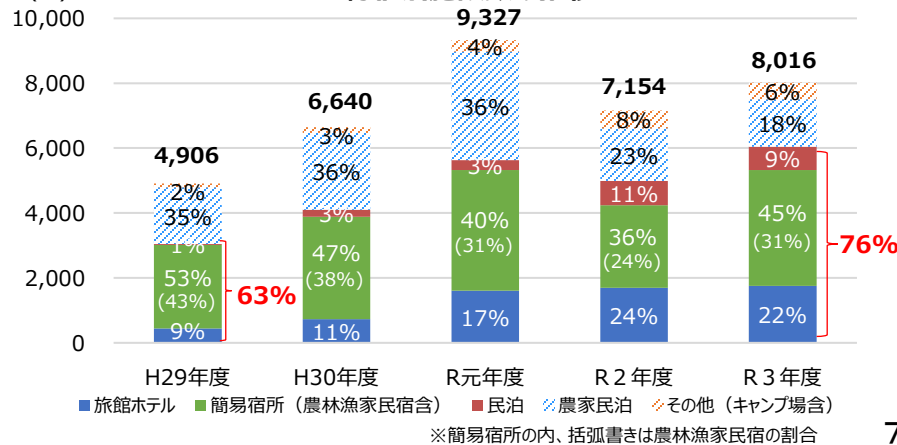
宿泊施設に占める古民家の割合



古民家宿泊施設「美十八」(京都府南丹市)

(軒)

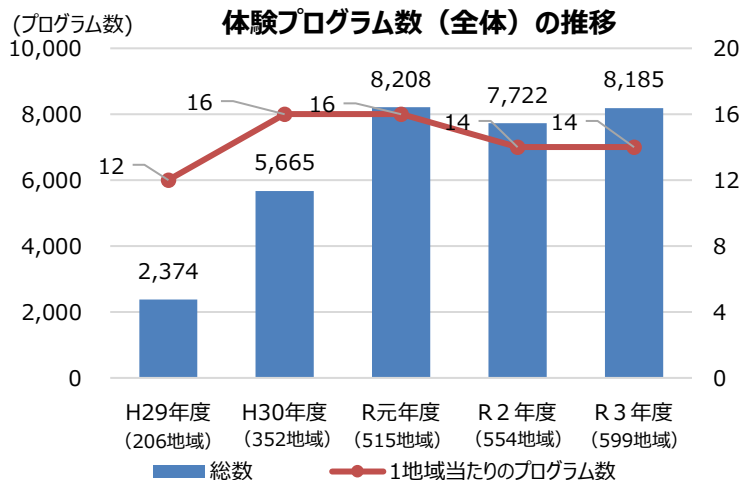
総宿泊施設数の推移



農泊推進の取組状況③

体験・食事

- ・農泊地域において提供する体験プログラム数は、平成29年度の2,374から令和3年度の8,185と約3.4倍に増加。
- ・食事メニュー数は、平成29年度の2,203から令和3年度の15,441と約7.0倍に増加。



■ 農業／野菜収穫体験 (熊本県菊池市)



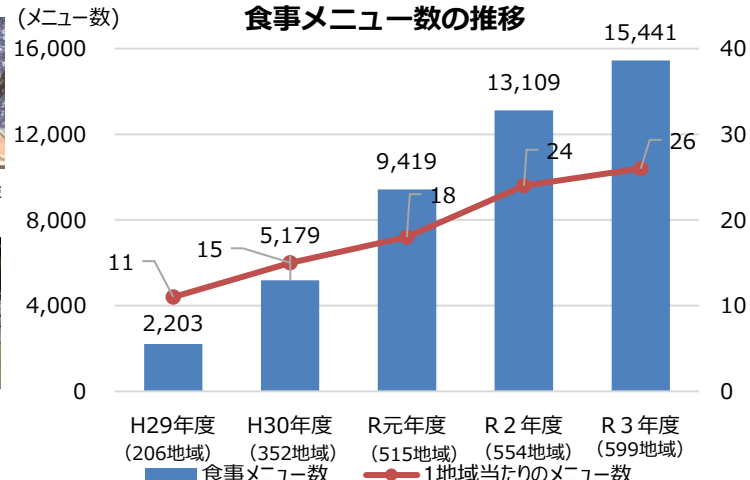
■ 自然／沿岸トレイル (岩手県釜石市)



■ 食／ほうとうづくり体験 (山梨県甲州市)



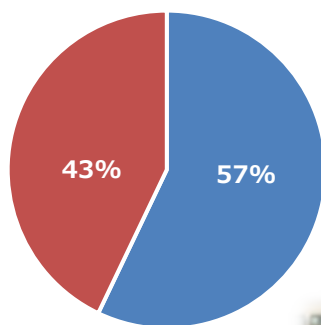
■ 文化／茶道体験 (鹿児島県出水市)



利用者の利便性の向上

- ・令和3年度末時点で農泊地域においてWi-Fi環境や外国語対応などのインバウンドを含むアクセス環境整備について4割から6割の整備状況となっており、利便性向上のために更なる整備が必要。

Wi-Fiの整備状況

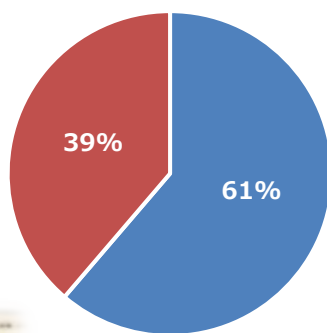


■ 対応 ■ 非対応



Wi-Fi環境の整備

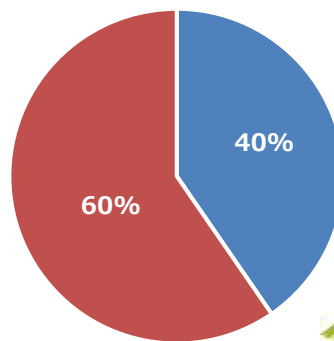
洋式トイレの整備状況



■ 対応 ■ 非対応

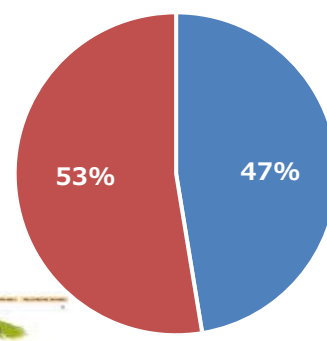
※ 地域の宿泊施設において、1施設でも外国語パンフレット、外国語案内表示、外国語ホームページを整備している地域数

外国語対応の整備状況※



■ 対応 ■ 非対応

日本語でのOTA登録状況



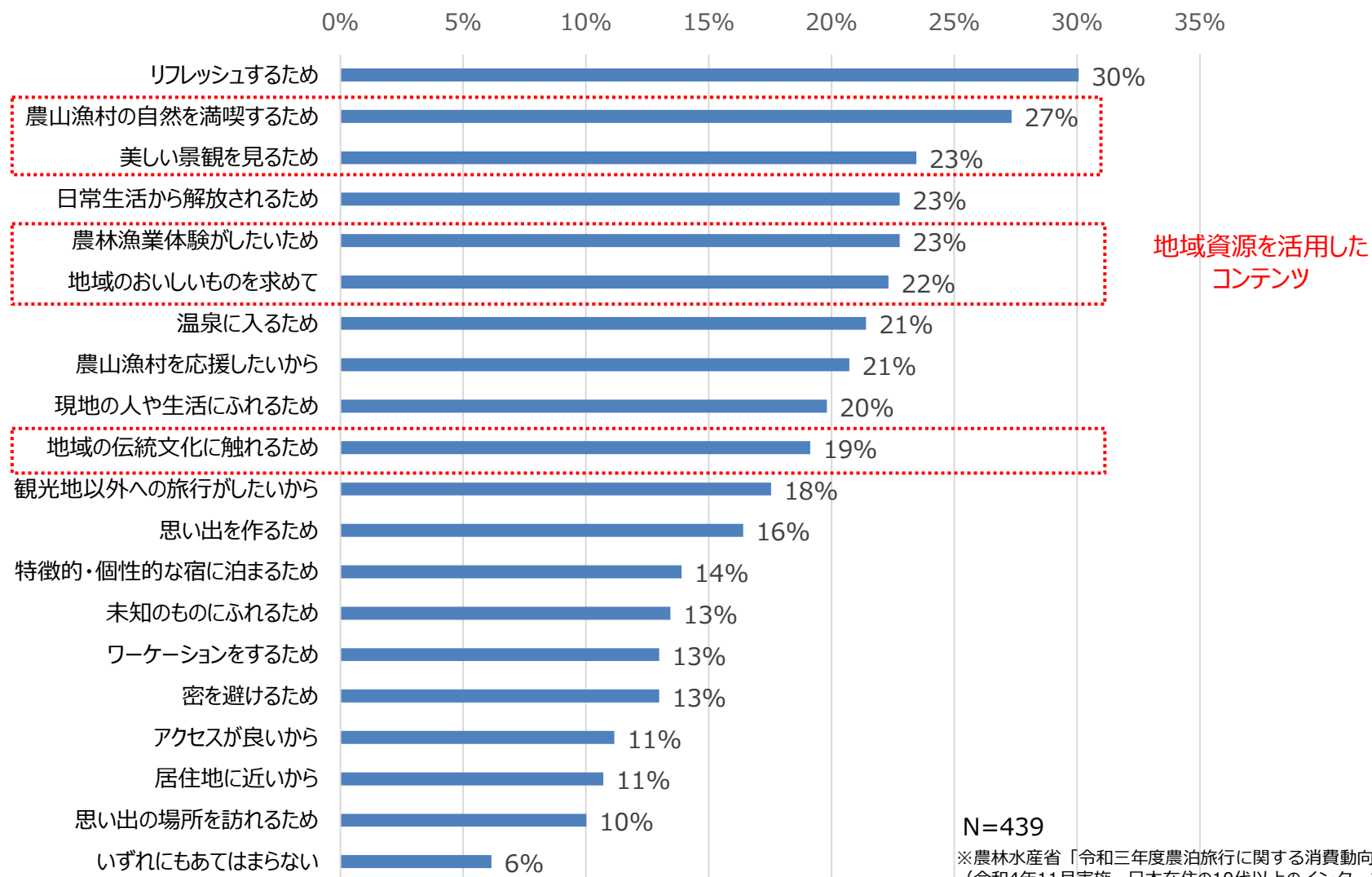
■ 対応 ■ 非対応



英語対応HP

農泊を経験した人の動機・きっかけ

- 令和4年度に実施した農泊を経験した人（男女439人）に対する調査によると、農泊を経験した動機・きっかけは「リフレッシュするため」が30%で最多であった。
- 「農山漁村の自然を満喫するため」や「美しい景観を見るため」など、農山漁村地域の地域資源を活用したコンテンツを体験するために農泊を経験したいと考えている人もおり、コンテンツの磨き上げにより農山漁村地域の魅力を向上させる事が重要であると考えられる。



N=439

※農林水産省「令和三年度農泊旅行に関する消費動向調査」より
(令和4年11月実施 日本在住の10代以上のインターネットモニター439人より回答)

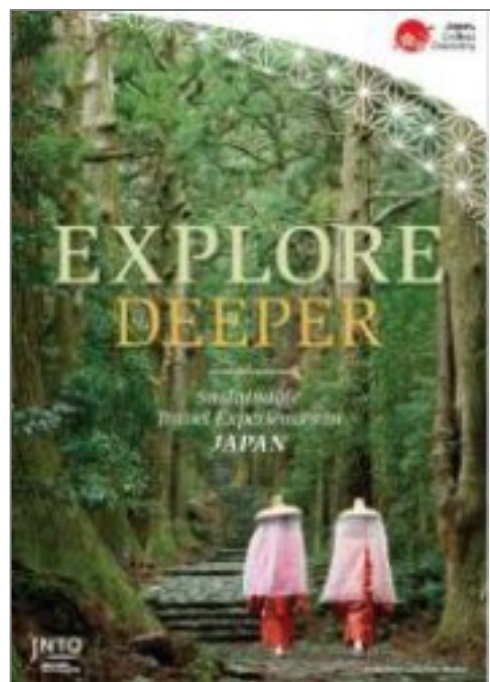
国内外から注目される「農泊」①

○令和4年5月、日本政府観光局（JNTO）において、**サステナブル・ツーリズムの旅行先としての日本の認知度・興味関心を高める**ことを目的とした英語版のデジタル・パンフレットを制作。

○主なターゲットを、**訪問地ならではの本物の体験を志向**するとともに、**旅行先にポジティブな影響をもたらしたい旅行者**とし、「自然と自然に根ざした文化」をコンセプトに、50のサステナブル・ツーリズムの観光コンテンツを紹介。

➡ **多くの農泊地域が掲載。SDGsを希求する旅行者が訪れるべき旅先として農山漁村地域への注目が高まっている。**

「EXPLORE DEEPER – Sustainable Travel Experiences in JAPAN-」



4. 豊かな自然風土に根差した食文化を楽しむ

静岡県掛川市	静岡のお茶農家から伝統的なお茶づくりを学ぶ「茶草場農法の農家体験・民泊」
三重県鳥羽市	海女の語りと伊勢志摩の新鮮な魚介を堪能「海女小屋はちまなかまど」
長野県佐久市	蔵人が寝泊まりした古民家を改装した酒蔵ホテルで本格酒造体験「KURABITO STAY」

6. 受け継がれる 日本の信仰に触れる

山形県鶴岡市	出羽三山で宿坊宿泊もできる本格的な「山伏修行体験」
--------	---------------------------

7. 伝統的な地域・文化財に泊まる

京都府南丹市	世界に認められたかやぶきの村・美山町に泊まる「美山Futon&Breakfast」
長野県茅野市	自然と共存する古民家宿泊施設「ヤマウラストイ」
兵庫県丹波篠山市	伝統的な日本家屋で古民家宿泊「篠山城下町ホテルNIPPONIA」
島根県大田市	素材を生かした古民家ゲストハウス「HISOM」
栃木県那珂川町	100年以上の歴史ある日本の伝統建築での宿泊体験「飯塚邸」

8. 地域に根付く 伝統芸能を鑑賞する

宮崎県高千穂町	重要無形民俗文化財を鑑賞できる「高千穂の夜神楽」
---------	--------------------------



UNWTO「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」2021に京都府南丹市美山町が選ばれています

広く知られている文化及び自然資源を有し、地域コミュニティに根差した価値観、商品及び生活様式を保全、促進していること、また、経済・社会・環境のすべての側面において革新と持続可能性に対して明確な努力をしていることなど、地域における傑出した事例であることが認証されます



北海道の「美しい村・鶴居村観光協会」が**第14回観光庁長官表彰**（令和4年度）を受賞しました！

観光庁が、魅力ある観光地づくりやその魅力の発信など、観光振興及び発展に貢献した個人や団体に対し、その功績をたたえるものです



「第9回ディスカバー農山漁村の宝」（令和4年度）にて伊根浦地区農泊推進地区協議会（京都府伊根町）が優秀賞を受賞しました！

農林水産省及び内閣官房が、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定するものです



農泊地域と旅行事業者との商談会

○令和4年度はJATA、ANTAからの協力のもと、7月、12月、2月にオンライン商談会を実施（合計373商談を実施）

【過去の商談会で商品化された事例】

クラブツーリズム×丘のまちびえい農泊推進協議会（北海道）

丘のまちびえい農泊推進協議会を通じて、これまで写真撮影立ち寄りスポットだった美瑛の丘のファームに入れる「**クラブツーリズム初！絶景の畑でアスパラまるかじり企画**」を造成して販売。さらに、「パッチワークの丘案内人同行でウォーキング！」や「美瑛の丘で星空観賞」（ナイトタイムエコノミー）も入れて定番商品の付加価値を創出。

『**彩鮮やかな春の北海道3つの花景色と美瑛パノラマウォーキング・旬のアスパラ収穫&丸かじり3日間**』
 <22名以下/ワクチン・検査パッケージ適用ツアー>

信州いいやま観光局×T-LINEパートナーズ(長野県)

「信州の“小京都”飯山をE-bikeで巡り、山伏・蕎麦打ち・座禅・ヨガ体験をする心洗われる2日間」プランとして販売。

南丹市美山観光まちづくり協会×楽天グループ(京都府)

「京都美山で半日田舎暮らし体験<築200年の古民家訪問/集落散策>」プランを販売。将来、田舎で暮らしや二拠点居住を検討している層などに訴求。

『**彩鮮やかな春の北海道3つの花景色と美瑛パノラマウォーキング・旬のアスパラ収穫&丸かじり 3日間**』
 <22名以下/ワクチン・検査パッケージ適用ツアー>

（補足情報）1名1室同額 | 2日とも源泉かけ流しの温泉 | ファームレストランで美瑛牛ハンバーグランチや見た目の美しい12種類の海鮮丼！

Go To トラベル再開時の割引適用についてはこちらをご覧ください。

旅行代金 -
 国内観光施設使用料が別途必要になります。

カレンダーを確認する

コース番号	73604-906
出発地	東海/愛知県
日数	2泊3日
旅行条件	最少催行人数：15名様 朝食：2回/昼食：2回/夕食：2回 添乗員：一部同行（1日目軒千歳〜3日目自カイル）バスガイド：同乗 現地係員：なし
関連キーワード	友人同士、家族旅行、夫婦旅行、温泉、グルメ、花見、期間限定、特別企画、1名1室同旅行代金、30名様以下ツアー
ブランド名	クラブツーリズムの旗

★ 考え中ボックスに追加 比較表に追加
 ☑ ツアー情報を共有する ▲ 催行決定お知らせメールを配信する

「信州いいやま観光局」全面協力・監修の特別体験ツアー！
信州の“小京都”飯山をE-Bike*で巡り、山伏・蕎麦打ち・座禅・ヨガ体験をする心洗われる2日間

5月12日(日)～5月13日(月)

99,800円

1名様から参加可能

信州の歴史と文化を体感できる特別な2日間。飯山の美しい風景をE-Bikeで巡り、山伏修行、蕎麦打ち、座禅、ヨガ体験など、心洗われる体験ができます。

京都 美山で半日田舎暮らし体験<築200年の古民家訪問/集落散策>

4,400円

京都府南丹市美山町にある、築200年の古民家を訪ね、集落散策を行います。田舎暮らしの魅力を体験し、美しい自然を満喫してください。

4,400円

楽天カード決済

【農泊推進のあり方検討会】

- 平成30年度から令和元年度にかけて、令和2年以降の農泊推進施策の展開方向について幅広い視点から検討を進めることを目的とした「農泊推進のあり方検討会」を計4回開催し、令和元年6月に中間とりまとめを公表。
- その後の状況変化を踏まえ、農泊推進の新たな目標に係る考え方や、目標達成のための具体策など、農泊施策の今後の方向性を検討するため、「農泊推進のあり方検討会」を令和4年12月より再開。
- 令和5年6月2日に第7回を開催、令和7年度までを計画期間とする「農泊推進実行計画」をとりまとめ。

委員
(五十音順・敬称略)
オブザーバー

大江 靖雄 (委員長)
東京農業大学国際食料情報学部 教授

野浪 健一
(一社)日本旅行業協会 国内旅行推進部長
総務省、観光庁、文化庁、環境省、農林水産省外食・食文化課、林野庁森林利用課、水産庁防災漁村課

尾本 英樹
全国農業協同組合連合会 常務理事

デービッド・アトキンソン
(株)小西美術工芸社 代表取締役社長

上山 康博
(一社)日本ファームステイ協会 代表理事

平野 達也
(独)国際観光振興機構 企画総室長

木村 宏
北海道大学観光学高等研究センター 教授

矢ヶ崎 紀子
東京女子大学現代教養学部 教授

【多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会】

- コロナ禍において観光需要が停滞する中、農山漁村の多様な地域資源を活用したコンテンツの質の向上等について、関係者間での情報共有や機運醸成を図るため、農観連携の取組の一環として、農泊実施主体、観光関係の有識者、観光事業者などで構成される「多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会」を開催。
- 令和3年度から現在までに計6回開催。先進的な地域の取り組み事例に係る情報共有や、アルベルゴ・ディフーズや物販による安定収入の確保など、農泊に関わる検討議題について議論。

委員
(五十音順・敬称略)
オブザーバー

皆川 芳嗣 (座長)
日本ファームステイ協会 理事長

上山 康博
(株)百戦錬磨 代表取締役社長
観光庁、文化庁、環境省

矢ヶ崎 紀子
東京女子大学 現代教養学部 教授

高井 晴彦
日本旅行業協会
国内・訪日旅行推進部長

柳原 尚之
柳原料理教室 主宰

中山 忍
全国旅行業協会 経営調査部次長

中村 朋広
クラブツーリズム(株)
取締役 創造事業本部長

杉野 正弘
日本観光振興協会
交流促進部門 審議役 兼
調査研究部門国際業務部長

藤井 大介
(株)大田原ツーリズム
代表取締役社長

平野 達也
国際観光振興機構 企画総室長

農泊推進実行計画（概要）

基本方針

- 「農泊」は、持続可能な農泊地域を創出する観点から、500地域創出を掲げた「草創期」から、「年間延べ宿泊者数を令和7年度までに700万人泊」とする目標の下、成果を示す「成長期」へ移行すべき段階にある。
- 地域自身が、地域の持続的な自立に資する事業を起こすことを目指す起業家精神「農山漁村アントレプレナーシップ」を持ち、「新規来訪者の獲得」「来訪1回当たり平均泊数の延長」「来訪者のリピーター化」に取り組むとともに、農林水産省が都道府県・事業者等と連携して広域的な課題解決に向けた支援を企画・実施することを通じ、目標の達成と農山漁村地域の持続性確保を目指す。

計画期間：
令和5～7年度
(2023～2025)

対応の方向性

- (訪れた人にとっても)
- C** いつも、いつまでも居て楽しめる農山漁村をつくる
(これまでに整えたコンテンツを広く可視化し)
- B** まずはわが農山漁村に来てもらう
- (コロナで疲弊した)
- A** 農泊地域の実施体制を再構築

目標

- 令和7年度目標：(農山漁村の活性化と所得向上を目指す)

農泊地域での年間延べ宿泊者数	700万人泊
訪日外国人旅行者の割合	10%

主な具体的課題

- A** ■ コロナで疲弊した地域の取組の持続性確保に効果的な支援が必要ではないか
- 農泊に関わる人材の確保・育成をすべきではないか
 - 地域全体に裨益する体制を確立すべきではないか
 - ICT化による事業合理化やEBPMの促進が必要ではないか
- B** ■ 農家宿泊・農業体験にとどまらない農泊を周知し、イメージを刷新するべきではないか
- コンテンツの一覧化等による旅マエの情報提供の抜本的な改善が必要ではないか
 - 農泊地域自身による現状認識と課題分析が必要であり、マーケティング戦略が急務
 - 受入環境整備等を通じたインバウンドの地方誘客が必要ではないか
- C** ■ 新たな旅行テーマに応じた農泊の展開に向けた支援が必要ではないか
- 来訪者満足度の上昇と地域課題の解決を同時に図る取組を促進すべきではないか
 - さらなる農泊地域の裾野拡大が必要ではないか
 - 資金調達が円滑に進むような支援が必要ではないか
 - 中長期滞在者の確保や来訪者の再訪・関係人口化に繋げることが必要ではないか

主な具体策

- A** ■ 実施体制の再整備のための先進地視察やコンテンツ充実等への支援
- 都道府県ネットワークの構築
 - 専門家派遣の活用について意義と効果の周知
 - 地域おこし協力隊員等の活用と農泊関係起業等への働きかけ
 - 関係組織それぞれに期待される役割、地域の取組へのポイントを提示
 - 地域協議会の登録制度の実現
 - 地域共通の宿泊予約システム導入等による農泊版DXの推進
- B** ■ 農泊総合情報プラットフォームによるマーケットに対する「農泊」の可視化等
- 観光アクセス交通・観光周遊交通を確保できるような情報提供
 - 「インバウンド重点受入地域」の指定による受入体制の重点的な底上げ
- C** ■ 「高付加価値」かつ「持続的」で「関係人口増加に資する」、全国の農泊地域の範となる新たなモデルの実証をソフト・ハード両面で支援
- 農業労働力支援等、農泊を通じた地域課題解決等につながる取組を支援
 - 資金調達のモデル提示
 - 滞在長期化に向けて、関係省庁の観光関連施策との連携と役割分担
 - 「旅マエ・旅ナカ・旅アト」における消費機会拡大等のための取組促進

令和7年度に向けて目指すべき姿

- コロナ禍からの復活とコロナ禍前を超える農山漁村地域への誘客を実現し、農山漁村の活性化と所得向上につなげていく。

農泊地域700万人泊の実現を目指すための施策

○農泊地域の延べ宿泊者数を増加させる3つの視座（「新規来訪者の獲得」、「来訪1回あたり平均泊数の延長」、「来訪者のリピーター化」）から施策を整理すると以下のとおり。

①地域のマーケティング戦略構築、地域資源を活用した「テーマ別観光」の推進（何度来ても楽しい地域づくり）

②関係各省庁・各部局が進める観光施策との連携、役割分担により観光地域づくりの取組推進

③宿泊を前提とした体験コンテンツ造成、公共施設の利活用

④宿泊施設（滞在後）における周辺コンテンツ情報提供の促進、戦略的な物販、ふるさと納税実施者への来訪マーケティングや来訪者へのふるさと納税の宣伝等、「旅マエ・旅ナカ・旅アト」における消費機会拡大、再訪・関係人口化等のための取組促進

等

来訪者の
リピーター化

①地域のマーケティング戦略構築、地域資源を活用した「テーマ別観光」の推進（行ってみたいくなる地域づくり）

②農泊総合情報プラットフォームの構築、旅行者への旅行商品化を訴求

③マーケットインを意識した各ターゲット層への売り込み

④SNSも活用し「農山漁村滞在型旅行」としての多様な農泊のイメージを発信（→丁寧な口コミ対応）

⑤農泊地域・「SAVOR JAPAN」認定地域一体でのインバウンド向けプロモーション、JNTOと連携したニーズ把握や情報発信等

⑥「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」等の国際認証等の地域拡大

⑦観光アクセス交通・観光周遊交通を確保できるような情報提供

等

新規来訪者の
獲得

来訪1回あたり
平均泊数の延長

①地域のマーケティング戦略構築、地域資源を活用した「テーマ別観光」の推進（いつまでも滞在できる地域づくり）

②農泊総合情報プラットフォームの構築、旅行者への旅行商品化を訴求

③マーケットインを意識した各ターゲット層への売り込みを図る

④「インバウンド重点受入地域」の指定による受入体制の重点的な底上げ 等

⑧宿泊を前提とした体験コンテンツ造成、公共施設の利活用

⑦関係各省庁・各部局が進める観光施策との連携により、地域一体として充実したコンテンツを提供

⑥観光アクセス交通・観光周遊交通を確保できるような情報提供

⑤宿泊施設（予約時・滞在中）における周辺コンテンツ情報提供の促進

○その他、これらの施策の実施の基盤となる地域協議会への取組持続化に向けた支援を行う。



農泊に関する問合せ先

農林水産省農村振興局農村政策部 都市農村交流課

TEL : 03-3502-0030

メール : nohaku01@maff.go.jp

農泊の取組概要や農泊推進対策の詳細については、農林水産省のWebサイトや農泊ポータルで公表しています。

農泊

検索

農泊 nohaku.net
農泊ポータルサイト

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/170203.html>

<https://nohaku.net>